

令和2年度 家庭科 1年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

< 2 > 各学年・各分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

生活や技術への関心・意欲・態度	衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
生活を工夫し、創造する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し、創造する。
生活の技能	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
生活や技術についての知識・理解	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定
- ②言語活動の充実
- ③ICT 機器の活用
- ④個に応じた指導

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	工	技	知	
4	わたしたちの 成長と家族・ 地域 ・ガイダンス ・自分の成長 と家族 (1 時間)	・小学校家庭科の学習を振り返り、自分の成長を実感する。 ・3 年間の見通しをもって学習に取り組む意欲をもつ。 ・自分の成長や生活が家族やさまざまな人に支えられてきたことに気付く。	●				・小学校家庭科の学習を振り返り、中学校家庭分野のねらいや学習内容を知り、3 年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。(観察、記述) ・自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付いている。(記述)
5 6	衣生活と自立 ・着る目的 ・計画的な活用 ・適切な選択 ・目的に応じた着用 ・適切な手入れ (1 1 時間)	・衣生活分野の学習に意欲をもつ。 ・衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服の着用を理解し、実践できるようになる。 ・手持ちの衣服調べを通して、衣服の過不足や処分方法を考え、衣服の計画的な活用の必要性を理解する。 ・衣服のさまざまな入手方法を考え、既製服を購入する時の注意点についての情報を収集、整理する。 ・既製服を購入する時の留意点について理解し、実際の生活に活かす。 ・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫する。 ・目的に応じた衣服の適切な選択について考え、工夫する。	●				・衣服の着用、選択、手入れについて関心を持ち、衣生活をよりよくしようとしている。(観察、記述) ・衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。(記述、定期考査) ・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、実践している。(記述) ・既製服を選択、購入する時の注意点や情報を収集、整理することができる。(記述) ・既製服の表示や購入する時の留意点を理解している。(記述、定期考査) ・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。(記述) ・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。(記述)

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	工	技	知	
		・日常着の手入れの必要性に気づき、衣服を快適に着用するための手入れに関心をもつ。 ・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修を考え工夫し、手入れができるようになる。	●				・日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修の課題に取り組んでいる。(観察、記述) ・調べたことを活かし、衣服に応じた手入れを工夫することができる。(観察、記述) ・衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修ができる。(観察、記述)
7 8 9	衣生活と自立 ・衣生活を豊かにするもの作り (12時間)	・衣生活・住生活を豊かにするための作品を製作する。 ・補修の技術を生かし、工夫しながら作品の製作をする。	●				・製作に関心をもって取り組んでいる。(観察) ・工夫して作品を製作することができる。(観察、作品) ・身につけた技術を生かし、安全で能率よく作品の製作をすることができる。(観察、作品)
10 11 12 1 2 3	住生活と自立 ・住まいの役割 ・安全で安心な住まい ・家族と住まいのかかわり ・健康で快適な住まい ・よりよい住生活 (11時間)	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善の方法を考える。 ・自分や家族の生活と住まい方とのかかわりを考える。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善の方法を考える。	●				・住まいの役割や基本的な機能について理解している。(観察、記述) ・安全な室内環境に関心を持ち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。(観察、記述) ・安全な室内環境になるよう、安全管理の方法を理解し、実践しようとしている。(観察、発言、定期考査) ・自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて関心を持ち、よりよい住まいをつくるために工夫し、実践しようとしている。(観察、記述) ・健康で快適な室内環境の条件を理解し、実際の生活のなかで工夫し、実践しようとしている。(記述、発言、定期考査)